



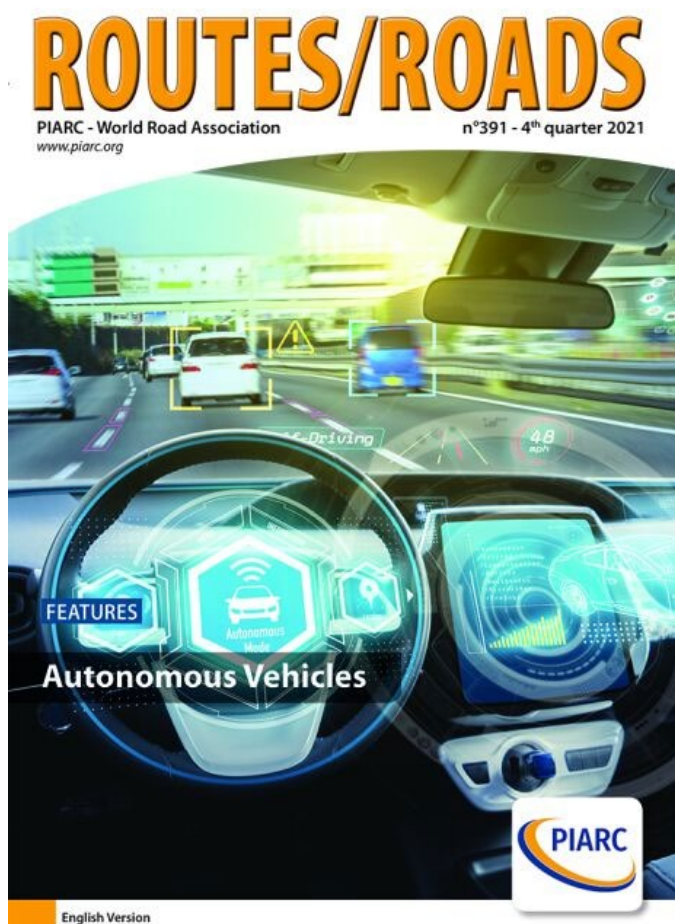
令和4年3月

PIARC 日本国内委員会からのお知らせ

PIARC 団体会員および個人会員の皆さまへ

日頃より PIARC 活動へのご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。ROUTES/ROADS 最新号のご案内とともに、日本国内委員会よりお知らせさせていただきます。最新号の特集は、「自動運転車両」です。自動運転車両は実用化に向けて様々な試験が実施されており、道路インフラ部門でも各国この技術革新に対応すべく多くの課題に取り組んでいる状況です。皆様の業務の参考になれば幸いです。ぜひご一読ください。

1. ROUTES/ROADS 最新号 (391号)



ど、従前の現地開催同様の経験が得られるよう工夫しながらの大会となりました。

本大会では、「冬期サービス」と「レジリエンス」に関する 15 のトピックスについて論文が募集され、41 カ国から 227 編が採択、うち日本の論文は国別で最多の 31 編が採択されました。

優れた論文に授与される PIARC 賞では 5 つの部門のうち 2 部門で日本の論文が、また PIARC 賞に次ぐ奨励賞 (Honorable Mention) でも 2 部門で日本の論文が受賞するなど改めて日本の PIARC 大会におけるプレゼンスの高さが際だつ形となりました。

展示会場では日本パビリオンが設置され、政府及び高速道路会社各社のブースが設けられ、各々最新技術等を紹介した映像が放映されました。

カルガリー大会の様子は、2022 年 6 月 30 日までオンデマンドで大会サイトから視聴可能です。知見に富んだセッションが数多く発表されていますので、是非ご視聴頂ければ幸いです。

2. 今号の主な記事の紹介

- ✓ PIARC 活動報告 - 8 頁
- ✓ ヤング・プロフェッショナルの紹介 - 21 頁
- 【今号の特集】
- ✓ スマート道路の分類 - 23 頁
- ✓ 未来に向かって：スマートハイウェイの機能的分類 - 28 頁
- ✓ 未来の道路：グリーン、デジタル、レジリエント - 31 頁
- ✓ GAV 展開時のセキュリティの脆弱性と脅威 - 37 頁
- ✓ デジタル交通インフラと自動運転車両との相互作用 - 41 頁
- ✓ 中国における自動運転車両とインテリジェントハイウェイ - 45 頁
- ✓ 自動運転車両-道路管理者及び道路当局の課題と機会 - 50 頁

【特集】自動運転車両

【今号の発行にあたって】

第 16 回冬期サービスとレジリエンスに関する世界大会（カルガリー冬期大会）が 2022 年 2 月 7 日から 11 日に開催されました。

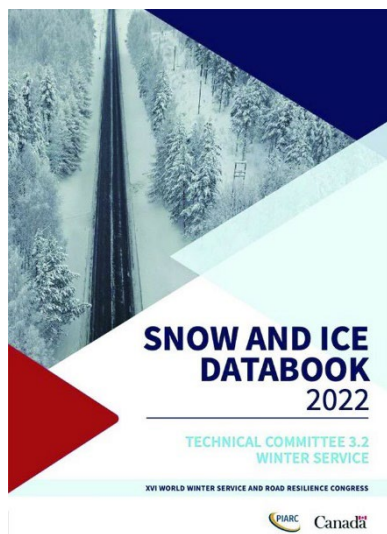
オンライン形式の大会でしたが、セッションや展示会に参加、人的交流を通じたネットワーク構築な

3. PIARC テクニカルレポートのご紹介

【レポート名】雪氷データブック 2022

【レポート概要】

各国とも冬季道路サービスにおける交通安全確保のため、様々な取り組みを行っています。冬期の天候予測は難しいなどより効率的な冬期道路サービスを目指すには様々な課題がある中、昨今でデータ通信や道路センサー技術の進歩により活用できるデータ量は増加する傾向にあります。



雪氷データブックは、世界各国の冬期道路サービスの最新の取り組みや経験を共有すべく、2002年に札幌で開催された第11回国際冬期道路会議に合わせ、初刊が発刊されました。以降4年に一度、PIARC国際冬期道路会議開催時に改訂版が刊行されています。本レポートは2022年2月カルガリー冬期大会の開催にあわせ発行されたもので、21カ国の冬期道路サービスの状況が紹介されています。今後の冬期道路維持管理業務の参考になれば幸いです。

PIARCウェブサイトレポート紹介ページ⇒



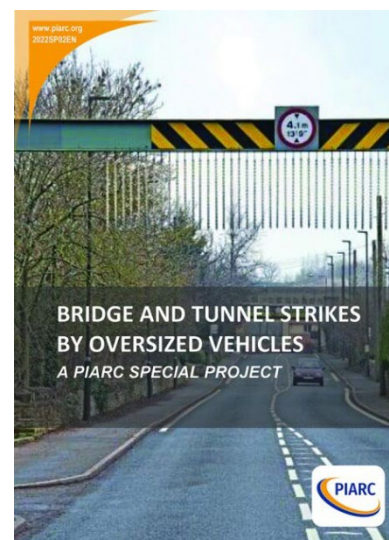
【レポート名】大型車両の橋梁とトンネルへの衝突

【レポート概要】

大型車両の橋梁やトンネルへの衝突は、道路利用者の安全性を大きく下落させる事象として認識されています。これらの事故は、インフラ構造物に多大な損害を与え、負傷者や死亡事故、二次衝突、交通遅延、緊急対応の他、復旧作業に関わる経済的なコストも発生させます。さらに甚大な被害の場合には、橋梁が崩壊し多くの重傷者や死亡者が発生、大きな経済的損失を引き起こすことも想定されます。米国では大型車両の橋梁への衝突は、橋梁損傷原因の大きな割合を占めており、もちろん高所得国や低所得国問わず重要な課題です。その要因はドライバーの

ミスや標識の問題など様々です。本レポートでは、橋梁やトンネルに衝突する大型車両の発生率を抑制すべく活用されている実証済みの対策、および橋への衝突発生を正確に追跡するための効果的なプロセスを、机上調査に加え関係者へのインタビューを行い調査しています。また上記に加え衝突の原因、結果についてもとりまとめています。今後大型車両の道路構造物への衝突対策を検討する際の一時になれば幸いです。

PIARCウェブサイトレポート紹介ページ⇒



【謝辞】テクニカルアドバイザーの交代

PIARCテクニカルアドバイザーの武内です。私のPIARCでの任期が2022年2月末をもって終了しますのでご報告させていただきます。2019年9月に赴任して以来、アブダビ大会、キックオフ会議、カルガリー冬期大会、TC会議など通じて日本関係者の皆様には大変お世話になりました。改めて感謝申し上げます。コロナ感染拡大の影響で皆様に直接お会いできる機会がほぼなかったのが心残りではありますが、今後PIARC活動が早期に通常通り運営されることを祈念しております。なお3月より妹尾佳 (email: kei.senoo@piarc.org) が後任のテクニカルアドバイザーとなりますので、引き続きご支援のほどよろしく願いいたします。

(本メッセージは、2月下旬に頂戴しました)

PIARC活動に関するご意見、ご質問等ございましたら、以下までご連絡いただければ幸いです。

PIARC日本国内委員会事務局 安藤: ando@road.or.jp
PIARC本部事務局 妹尾: kei.senoo@piarc.org